

	質問・意見等	回答等
1	<p>大人の都合の話ばかりだったので、子供たちの意見を聞いてあげてほしい。 できれば、数年間は学校を選択させてほしい。</p>	<p>東泉丘小学校の課題を解消し、良好な教育環境を整備することは、「大人の都合」ではなく、教育委員会が果たすべき「責任」だと考えています。子どもの権利を尊重し、意見を聞くことも考えられますが、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」に基づき、保護者や地域住民の皆さまと話し合いながら検討を進めているところです。また、選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティや教育コミュニティの分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いることが懸念されることから、望ましくないと判断しました。</p>
2	<p>東泉丘2丁目の中学校区の変更について、今まで何も耳にせず、初めて聞いて驚いている。 自分自身豊中出身で中学校区について不満がありました。家は十一中区域でしたが、三中との境(前の家は三中)で、学校に行くのに子供の足で40~45分かかり、三中は徒歩20分。通学路は、決して安全ではなかったと思う。 変更を小学校単位で行うのではなく、一番近い中学校を中心に、徒歩〇分(20分?)以内の円とすべきです。我が家も質問されていた方のように、家が十五中から徒歩5分です(家から見えてます)。やはり安全性を考えると20分以上かかる十七中への進学は納得できません。通学区域決定の際、一番大切なのは、安全性だと思います。 最後に、親の意見としてですが、姉現在十五中生、兄現在小5(十五中へ進学)該当児童(十七中へ変更?)きょうだい3人同じ中学校へ進学させてやりたい。子ども(きょうだい)同士の情報のやり取りも大事にしてやりたい。</p>	<p>本市では、小中一貫教育をより一層推進するため、通学区域等の変更により、分割校の解消に努めることとしております。あわせて、今回、新千里南町3丁目の通学区域を変更した場合、東泉丘小学校から大半の児童が第十七中学校に進学し、東泉丘2丁目の子どもたちだけが第十五中学校に進学することになります。当該地域から第十五中学校に進学する児童は現状よりもさらに少人数となり、精神的な負担は大きいものと考えられます。以上の点を勧告し、新千里南町3丁目の通学区域変更に合わせて、東泉丘小学校の分割校解消も合わせて検討を進めてきた次第です。また、登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。なお、本市では、均等な距離に学校が配置されておらず、中学校を中心に円を描いても、重複する地域や包含されない地域が生じてしまうこと、また小中一貫教育の推進、教育コミュニティ形成の観点から、中学校区は小学校区を単位として構成することが望ましいと考えています。</p>
3	<p>5年生も林間等行事もあり、通い慣れた学校の友達と行かせてあげたいと思う。新5年生、新6年生を東泉丘小学校に残してあげてほしい。選択制にすることは無理でしょうか。 教室がたりなくなるのはもっと前からわかっていたはずなので、もっと早くに検討して決定すべきだったと思う。</p>	<p>事務局案では、新千里南町3丁目に居住する新6年生(平成29年度)は東泉丘小学校に通うこととしております。新5年生について再検討しましたが、該当する子どもたちには、新千里南町3丁目から南丘小学校に通うことになる子どもたちの牽引役として、さらに南丘小学校に在学する新5,6年生とともにリーダーとして活躍してもらいたいと考えています。次に、選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティ等の分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いることが懸念されることから、望ましくないと判断しました。なお、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」に基づき、平成26年度(2014年度)将来推計において、明確に東泉丘小学校の教室不足が見込まれましたので、検討に着手しました。</p>
4	<p>入学した学校を卒業できないのはかわいそうに思う。子どものことを考えてあげるのが1番です。</p>	<p>平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。</p>

	質問・意見等	回答等
5	<p>小中一貫と言いながら、長期的な検討が不十分。九中の検討がなされていないことなど。</p> <p>東泉丘小の目先の解消にだけとられている感じが否めない。例えば、教育環境上、小規模にどんな課題があり、一部の子どもを南丘へ移すことで、どうクリアされて、どんなあるべき姿になるのかが理解できない。</p>	<p>第九中学校の教室不足も懸念されるところですが、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」の中で、第九中学校の将来推計において、明確に教室不足が見込まれた場合、その時点から第九中学校の検討に着手することとしております。また、教育環境の課題ですが、南丘小学校は、クラス替えができず人間関係が固定化されやすい、切磋琢磨する機会が少ない、教員配置が十分ではなく教育活動が制限されるなどの小規模課題が、隣接する東泉丘小学校は、様々な活動(少人数教室など)に使う教室がなく、体育館等の施設利用面から教育活動が制限される、学年内、異学年間の交流が不十分になりやすいなどの大規模課題があります。今回の通学区域変更を行えば、両校の規模に関する課題は一気に解消されるものと考えています。</p>
6	<p>教室不足の状況などはわかりますが、在校生も校区解消のために校区が変わることに疑問を残します。在校生については選択できる余地を残すなど、対応が必要ではないでしょうか。子どもを転校させたくない夫婦で考え、自宅を購入して豊中市へ引っ越してきました。家族の人生設計まで関わる問題だと思います。新千里南町3丁目は、自宅を購入している人の比率が高いように思います。子育てについても、未熟な人間で毎日不安・心配を抱えながら必死にしています。その中で、大きく環境が変わるこのような状況に、余計に不安・心配をしています。柔軟な対応をぜひよろしくお願いいたします。学校規模については、今、校区を変えても、子どもが成長したらまた変わっていくものです。校区の変更は、該当家庭にとって本当に負担・不安になるものです。もし、教室不足になるなら、新しく建つマンションの子どもたちを別の校区にする方が納得がいきます。このような者の意見、つたない文章ですが、ぜひご一考下さい。よろしくお願いたします。</p>	<p>平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。また、選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティ等の分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いことが懸念されることから、望ましくないと判断しました。次に、新たに建設されるマンションの通学区域を変更すればどうかというご提案ですが、立地も要因の一つであり、校区の端であれば検討の余地がありますが、校区の中程であれば、当該マンションの子どもたちは東泉丘小学校の通学区域を通り抜けて、別の小学校に通わなければならないとなり、登下校時の安全確保や、地域・教育コミュニティの形成等に課題があることから、望ましくないと考えます。事務局といたしましては、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」に基づき、豊中市の子どもたちの良好な教育環境の整備、充実に努めていきたいと考えております。なお、南丘小学校へ転校となる児童の精神的負担を軽減するためにも、平成28年度の1年間は、周知や学校間での調整に充てることとし、行事などでの交流や登下校の通学路の確認、相談体制、教職員の配置等も含め、双方の子どもたちが円滑になじめるように検討していきたいと考えています。</p>
7	<p>九中の受け入れ態勢はどうなんでしょうか。4つの小学校が集まり、すでにいっぱいと言っている。</p> <p>問題や課題が多くあり、増築案の方で進めていただきたい。今日の説明内容だと、増築案はあってないようなものでした。</p> <p>小中一貫、分割校を減少と言われるが、東泉丘は2つの中学校に分かれるだけなので、さほど大きい問題と思えない。</p>	<p>第九中学校の教室不足も懸念されるところですが、学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針の中で、第九中学校の将来推計において、明確に教室不足が見込まれた場合、その時点において、第九中学校の検討に着手することとしております。なお、増築案につきましては、概算の工事金額や工事スケジュール等も含めて検討しましたが、最終的には教育環境の改善にはつながらないと判断し、通学区域変更案を提案したものです。分割進学の課題として、義務教育9年間を見通した系統性、連続性のある小中一貫教育の推進がしづらいこと、また子どもたちにとっても、一緒に学んできた友達と別れて進学することによる精神的な負担(不安感、新しい環境になじむまで時間がかかるなど)が大きいことが挙げられます。分割進学を解消することで、小・中学校間の連携がしやすくなり、その結果、小・中学校間の段差解消や、学習・生活指導面での効果が期待できるものと考えています。</p>

	質問・意見等	回答等
8	南丘小学校も将来的に教室不足という状況を招かないのか？	新千里南町3丁目に居住する児童は、学年ごとにばらつきはありますが、1学年あたり40人から60人程度ですので、現状のままであれば、当面の間、300人前後と予想されます。今後、集合住宅の建て替えなどにより、さらに増える可能性もありますので、絶対に教室不足にならないとは言い切れません。今後、将来推計において南丘小学校の教室不足が明確になった時点で対応策を検討することになります。
9	年齢の近い兄弟がいる家庭のことを良く考えて決定してください。	今回の事務局案では、平成29年度、新千里南町3丁目の通学区域について、新1年生から新5年生までは南丘小学校、新6年生は東泉丘小学校としておりますが、6年生に兄弟がいる場合、下の弟妹が1年間だけ東泉丘小学校に指定校変更するか、あるいは上の兄弟が南丘小学校に指定校変更するか、選択できるように考えています。なお、上の兄弟は、平成30年度、出身小学校に関わらず、第十五中学校に進学していただくこととなります。
10	小中一貫教育を進めていきたいという考えは理解できるが、目の前にある十五中から十七中に変更する理由があまり強く感じられなかった。 東京などにある一体型の小中一貫教育なら理解できるが…	本市では、小中一貫教育をより一層推進するため、通学区域等の変更により、分割校の解消に努めることとしております。あわせて、今回、新千里南町3丁目の通学区域を変更した場合、東泉丘小学校区のうち東泉丘2丁目だけが第十五中学校区の通学区域となり、東泉丘小学校から第十五中学校へ進学する児童が現状よりもさらに少人数になってしまい、精神的な負担は大きいと考えられます。以上の点を勘案し、新千里南町3丁目の通学区域変更に合わせて、東泉丘小学校の分割校解消も合わせて検討を進めてきた次第です。なお、小中一貫教育とは、小学校と中学校が力を合わせ、9年間を見とおして子どもの教育を発展的に、より充実したものへ高めるものであり、他市では、ご指摘のような施設一体型だけでなく、施設隣接型や分離型といった形態でも行われています。
11	南丘・九中への流れは理解できました。しかし、どう考えても九中が多くなるのはわかりますし、また、西丘・上新田の校区が変更するのに反対が多数あるとも聞いています。その中で、南町が九中に移動してきて、対立的な構図になったりしないかが心配です。	第九中学校の教室不足も懸念される場所ですが、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」の中で、第九中学校の将来推計において、明確に教室不足が見込まれた場合、その時点において、第九中学校の課題解消に向けた検討に着手することとしております。なお、その際には、施設の増設・充実、又は隣接校との通学区域の変更のいずれかの方法で検討することになりますが、現時点においては全くの白紙です。
12	子ども達の事をもっとよく考えてほしい。途中で学校、校区を変えることが最善とは思えないので、もっと多くの選択ができるようにしてほしいし、子どもに一番影響の出ない形にしてほしい。今の内容に理解はできますが、納得はできない。	平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。また、選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティ等の分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いことが懸念されることから、望ましくないと判断しました。
13	28年度に第一子が小学校に入学予定です。(新千里南町在住)2年生で転校になるなら、1年生で南丘に入学できたらいいなと思うのですが…。そういう選択は可能なのでしょうか？	新千里南町3丁目の通学区域について、平成28年度は東泉丘小学校であり、南丘小学校に指定校を変更することは難しいものと考えますが、特別な配慮が必要な児童等につきましては個別に相談させていただくこととなります。

	質問・意見等	回答等
14	<p>小学校区のきょうだい関係について、2017年6年生がいる場合、弟妹は1年は東泉丘小へ入学できるのに、2018年～は南丘小へというのはおかしい。1～2年行って、また次年度は別のところというのは、子どもがおちつかない。(下にまだ、子どもがいる人もたくさんいると思うので)</p> <p>新しいマンションの人たちの移動を考えるべきでは？</p> <p>3丁目のマンション群と戸建で分けてもいいのではないか。これを考えられないというのもおかしい！！40年ほど前にも移動があり、なぜ3丁目だけコロコロ変わるのか？私立に行けということか？</p> <p>二ノ切を進む小学校ルート1案は、危険でないというのは違うと思う。朝、よく通るが、スピードも速いし、横断歩道もないところがあり、危険である。</p> <p>今、近いのに、わざわざ遠くなるのは納得いかない。</p>	<p>きょうだい関係で、弟妹が卒業まで東泉丘小学校に在学した場合、地域の多くの児童が南丘小学校へ通学する中、少数の児童のみが東泉丘小学校へ通学することになり、登下校時の安全確保に課題があること、また通学する小学校が異なる状況が長く続く可能性があり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。次に、新たに建設されるマンションの通学区域を変更すればどうかというご提案ですが、立地も要因の一つであり、校区の端であれば検討の余地がありますが、校区の中心であれば、当該マンションの子どもたちは東泉丘小学校の通学区域を通り抜けて、別の小学校に通わなければならないとなります。また、新千里南町3丁目の通学区域を街区単位で分ければ、自治会等の地域コミュニティを分断したり、地域の子どものつながりを分断したりすることになります。いずれにせよ、登下校時の安全確保や、地域・教育コミュニティの形成等に課題があることから、望ましくないと考えます。なお、登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
15	<p>前回までの説明会では、一度、東泉丘小学校に入学した子どもについては選択できる様なお話だったので、そのつもりでいました。そのあたりの話は、ご検討いただけたいのでしょうか。途中で小学校が変わるストレスは相当あると思います。防犯カメラの設置を早急に進めていただきたいと思います。</p>	<p>平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。なお、防犯カメラの設置については、市として自治会からの要望のもと、設置の補助を行っています。</p>
16	<p>次回の説明会の時に、具体的な案をいただけたらと思います。説明が子どもを中心に考えてない気がする。</p> <p>通学区域に関しての再検討を考えると困る。せめて、在学対象外にしてもらわないとPTAとしては、納得できません。</p>	<p>平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。</p>
17	<p>まず、校区変更ありきの話し合い、説明であると思います。絶対、1小1中でなければならぬか。もう少し柔軟に考えてほしい。</p>	<p>事務局は、増築案と通学区域変更案の両案について、さまざまな角度から検討しましたが、教育環境の改善、充実につながる方策であると判断し、通学区域変更案を提案したものです。</p> <p>なお、一つの小学校から全員同じ中学校に進学できるように分割校を解消すれば、小・中学校間の連携がしやすくなり、その結果、小・中学校間の段差解消や、学習面・生活指導面での効果が期待できるものと考えています</p>

	質問・意見等	回答等
18	<p>小中一貫教育の意義が見えにくい中で、この理由で校区変更が突き進むことが、市民が納得できにくいという参加者の意見にごもつとも思いました。</p> <p>子どもたちの立場で見ると、現在東泉丘小に通っている子どもは、卒業まで最後まで東泉丘小に通わせて続けたいとのこと。実際に今、子どもと一緒に参加し「途中から南丘だよ」と伝えたと「絶対いやや！友達と離れるもん」とのことでした。</p> <p>子どもたちにとって最善の策は、在校生は卒業まで同じ学校だと思えます。「新1年～新5年同時に」移行はぜひとも見直してください。</p>	<p>分割進学の問題として、義務教育9年間を見通した系統性、連続性のある小中一貫教育の推進がしづらいこと、また子どもたちにとっても、一緒に学んできた友達と別れて進学することによる精神的な負担（不安感、新しい環境になじみにくいなど）が大きいが挙げられます。分割進学を解消することで、小・中学校間の連携がしやすくなり、その結果、小・中学校間の段差解消や、学習面・生活指導面での効果が期待できるものと考えています。また、通学区域の変更方法につきまして、平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。</p>
19	<p>子どもたちが犠牲にならなければいけないのはおかしい！！不安定な子もいます。現在でも、日々、子どもと向き合って、現小学校にスムーズに登校できるようになってきたところです。また新環境となれば、またゼロからです。子どもを物のように動かすのではなく、小学校自体を変えるべきです。（増築など）</p> <p>子どもも物のように扱うのはやめてください。今でも学校が変わるの？と子どもは不安を感じ訴えています。子どもにそのような不安感をあたえるのはおかしいです。</p>	<p>事務局は、増築案と通学区域変更案の両案について、さまざまな角度から検討しましたが、教育環境の改善、充実につながる方策であると判断し、通学区域変更案を提案したものです。決して子どもたちを“犠牲”にするのではなく、東泉丘小学校、南丘小学校の両校の子どもたちが、より充実した教育環境で学ぶことができるものと考えています。なお、平成28年度の1年間は周知及び準備期間とし、事前の交流活動の充実や通学（経）路の安全確認、相談体制の構築、教職員の配置等、両校の子どもたちが円滑になじめるよう検討していきたいと考えています。</p>
20	<p>南丘小の人数増に伴う、教員は東泉丘小の教員を異動させるべき（小学校の教育の連続性を確保すべき）</p> <p>子どもたちのフォロー体制を構築すべき（小学校変更によるメンタルケアなど）</p>	<p>転校児童の新しい学校への不安や南丘小学校の児童が受ける環境変化への不安等に対する十分な配慮が必要と認識しております。たとえば、事前の交流活動の充実や相談体制の構築、教職員の配置等、両校の子どもたちが円滑になじめるよう検討していきたいと考えています。</p>
21	<p>結局、何が言いたいかわからない。市が面倒くさいから、校区変更を選んだのだとよくわかった。</p> <p>南丘小までに道のり、重い荷物を持って通うのはかわいそう。</p> <p>PTA 活動において、今までのことが白紙になり、東泉丘小から変わる親にとって不利</p>	<p>事務局は、増築案と通学区域変更案の両案について、さまざまな角度から検討しましたが、教育環境の改善、充実につながる方策であると判断し、通学区域変更案を提案したものです。また、PTA のルール等につきましては、基本的に東泉丘小学校、南丘小学校のPTA間で調整していただく必要がありますが、事務局として可能な範囲で支援したいと考えております。</p>
22	<p>在校生に関しては、子どもたちの友人関係等もありますので、引き続き、東泉丘小に残れる案もご検討ください。</p>	<p>平成29年度に新1年生となる子どもたちから順次、南丘小学校に変更することも考えましたが、初年度は新1年生の子どもたちだけで登下校させることになり、安全確保に課題があること、また学年によって通学する小学校が異なる状況が少なくとも5年間続くこととなり、地域・教育コミュニティの形成上、課題があることから、望ましくないと判断しました。また、選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティ等の分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いることが懸念されることから、望ましくないと判断しました。</p>

	質問・意見等	回答等
23	<p>小中一貫の目標のために、今、現在の校区変更に対象になっている子どもたちのケアや、目の届く教育ができるのでしょうか？</p> <p>在学生だけでも、プレハブでも、6年間通学できないのか？</p> <p>今の子どもたちの立場も考えていただきたい。小中一貫を目指すなら、もっと地域の事を考えてほしい。</p> <p>本当に、教育、将来がある子どものために対策を考えてほしい。隣市がとてもよく感じます。</p>	<p>分割進学の問題として、義務教育9年間を見通した系統性、連続性のある小中一貫教育の推進がしづらいこと、また子どもたちにとっても、一緒に学んできた友達と別れて進学することによる精神的な負担(不安感、新しい環境になじみにくいなど)が大きいが挙げられます。分割進学を解消することで、小・中学校間の連携がしやすくなり、その結果、小・中学校間の段差解消や、学習面・生活指導面での効果が期待できるものと考えています。事務局は、増築案と通学区域変更案の両案について、さまざまな角度から検討しましたが、教育環境の改善、充実につながる方策であると判断し、通学区域変更案を提案したものです。通学区域を変更することによって、東泉丘小学校、南丘小学校の両校の子どもたちが、より充実した教育環境で学ぶことができるものと考えています。なお、平成28年度の1年間は周知及び準備期間とし、事前の交流活動の充実や通学(経)路の安全確認、相談体制の構築、教職員の配置等、両校の子どもたちが円滑になじめるよう検討していきたいと考えています。</p>
24	<p>はじめに、校区変更ありきの話し合いであったように思います。</p> <p>校区を変えるということは、コミュニティを変えるということ。数字を並べただけの問題ではないということをもっとかんがえてほしいです。</p>	<p>事務局は、増築案と通学区域変更案の両案について、さまざまな角度から検討しましたが、教育環境の改善、充実につながる方策であると判断し、通学区域変更案を提案したものです。今回は、子どもたちの教育環境を最優先に考えて、通学区域の変更を提案させていただきましたが、通学区域が地域に浸透し、学校が地域活動の拠点となっていることにつきましては、一定配慮する必要があるものと認識しております。</p>
25	<p>新千里南町3丁目は治安、校区が優れていることから、土地代も高いですし、それをふまえて土地を購入しております。この南町3丁目をすべて移動というのはひどいと思います。泉丘小学校も増築してくださいましたし、その案をお願いしたいです。今から建つマンションや最近建ったマンションなどには移動の意味もわかりませんが、昔からあるこの地域を丸ごと移動というのは乱暴だと思います。小学生にも中学生にも、年をとった方々にも遠すぎてひどいです。</p> <p>昔から、守ってきた地域には高齢の方もたくさんおられます。避難場所や選挙場所にもかなり負担です。</p> <p>新しい地域の方に協力して(マンションなど)頂いた上で、購入していただくことにして、そこからは移動でも仕方ないと思います。南町3丁目すべてを移動はひどいと思います。増築してください。</p> <p>今までの地域はこのままでいいです。遠すぎて本当にひどいです。</p>	<p>事務局は、増築案と通学区域変更案の両案について、さまざまな角度から検討しましたが、教育環境の改善、充実につながる方策であると判断し、通学区域変更案を提案したものです。なお、避難場所や選挙(投票所)につきましては、校区変更と連動するわけではありません。また、新たに建設されるマンションの通学区域を変更すればどうかというご提案ですが、立地も要因の一つであり、校区の端であれば検討の余地がありますが、校区の中程であれば、当該マンションの子どもたちは東泉丘小学校の通学区域を通り抜けて、別の小学校に通わなければならなくなり、登下校時の安全確保や、地域・教育コミュニティの形成等に課題があることから、望ましくないと考えます。</p>
26	<p>具体的数字が少なく、小中一貫についての話を詰めてほしい</p>	<p>子どもたちの発達の早期化や、中1ギャップなど、小・中学校間での円滑な接続が課題となっています。小学校と中学校が「めざす子ども像」を共有し、9年間を通じた教育課程の編成や学習指導の工夫を行い、系統的な教育を行うことで、学習指導や生活指導での効果が期待できるものと考えています。</p>
27	<p>明確に、小中一貫教育のメリットを市民全体に示して下さい。</p> <p>新しくできた住宅地を優先せず、古くから住む住民の権利を優先してほしい。</p>	<p>子どもたちの発達の早期化や、中1ギャップなど、小・中学校間での円滑な接続が課題となっています。小学校と中学校が「めざす子ども像」を共有し、9年間を通じた教育課程の編成や学習指導の工夫を行い、系統的な教育を行うことで、学習指導や生活指導での効果が期待できるものと考えています。</p> <p>なお、「新しくできた住宅地を優先せず、古くから住む住民の権利を優先してほしい」とのことですが、事務局では、子どもたちのより良い教育環境を第一に考えて検討しております。</p>

	質問・意見等	回答等
28	親としては、近くの学校に通わせたいので、なぜ分割校がいけないのかが今一つわからない。 先生方の負担増になるようなことを言われていたが、大切な子どもを預けているのだから当然なのでは？	分割進学の問題として、義務教育9年間を見通した系統性、連続性のある小中一貫教育の推進がしづらいこと、また子どもたちにとっても、友達と別れて進学することによる精神的な負担(不安感、新しい環境になじみにくいなど)が大きいことが挙げられます。分割進学を解消することで、小・中学校間の連携がしやすくなり、その結果、小・中学校間の段差解消や、学習面・生活指導面での効果が期待できるものと考えています。 なお、「教職員の負担増」については、学校間の情報共有、日程調整等の「事務的」コストを抑制し、子どもたちへの指導等に集中すべきという考えをお伝えしようとしたものです。
29	将来推計も予想を入れて考えていかないと長いスパンの問題なので、時間的に追いつかないと思います。	本市では、毎年5月1日現在の児童・生徒数、住民基本台帳データ等をもとに、6年先まで小・中学校ごとに児童・生徒数推計を算出しています。ただし、将来推計は開発等により大きく変動しますので、今後もマンション開発等の最新情報を注視していきたいと考えています。
30	当初の予測と2015年度の実績で5%の差も出ており、最新のデータでの予測を市のHPなどにアップしてほしい準備もあるので、早期の決定をお願いしたい。	本市では、毎年5月1日現在の児童・生徒数、住民基本台帳データ等をもとに、6年先まで小・中学校ごとに児童・生徒数推計を算出しています。ただし、将来推計は開発等により大きく変動しますので、今後もマンション開発等の最新情報を注視しながら、反映させていきたいと考えています。市ホームページには、関連データを整理して、必要な資料を掲示すべきと考えています。今後の流れといたしましては、秋ごろをめどに学校教育審議会への諮問、答申を経たうえで、教育委員会会議にて決定できればと考えています。
31	南丘小学校へ南町3丁目までの通学路をどの程度「子どもの目線」で見ているのかがよくわからなかった。 自分の目で一番確かめて、不安な箇所、不審な場所があれば報告します。 市からは案(知恵)が出せないという発言に驚き、あきれました。 子どもが安全に通えるように、保護者と子供の視点をもって今回の提案に当たっていただきたい。職務怠慢です。	登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。また、地域の皆様からも通学(経)路の点検や危険箇所の指摘等、ご協力いただきながら、子どもたちの安全確保に努めたいと考えます。
32	通学路に対する見通しが甘いと思われます。 新千里南町3丁目→南丘小学校ルートで、遊歩道手前の2段横断のところは、小学生にとって危険と思われます。抜け道で、車が割とスピードを出して走っています。登下校とも見守りが必要。 十五中→十七中ルートで、中学生がおとなしくお行儀よく歩くと考えられますか？	登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。
33	通学路で、元消防署の前の道に押しボタン式の信号をつけてほしい。 二の切前の交差点は事故が多いので反対です。 どうしてもということなら、スクールバスなり安全を確約してください。 南町3丁目から第九中学校への通学も遠すぎます。 人数を分散させるためなら、南町3丁目のマンションの人数分を移動させればよいと思います。 南町3丁目でも、戸建て部分の子どもは少人数ですし、通学路もマンション側のルートの方が車両との事故にも対応できると思います。ですので、南丘保育園の前の坂道で区切ってください。二の切公園側から消防署に渡る道も交通量が多く反対です。	登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。また、新千里南町3丁目の一部街区で通学区域を変更しますと、これまで培ってきた地域コミュニティを分断することとなり、様々な活動の妨げになることが予想されます。さらに、同じ地域で通学する小学校が異なることとなり、登下校時の見守り体制や安全面で不安が残ることになります。そのため、新しく建つマンションやマンション群だけなど、街区単位で通学区域を変更することは考えておりません。



	質問・意見等	回答等
34	南丘小への通学路(南町2丁目の診療所あたりトンネル付近)暗すぎです。子どもだけで通らすのは不安です。子どもは、H29年に新1年・新5年になります。ちょうどその年の子をもつ母として、新5年生も南丘へ転入するのは納得できません。今まで作り上げてきた友人関係、慣れ親しんだ学校を残り2年の高学年で変えられるのはいかがなものでしょうか？子ども2人が別の学校となれば親の負担は増えますが、それでも、新5年生の子は東泉丘へ通わせたいです。校区を選択制にできるなど、検討して頂きたいです。	南丘小学校に確認したところ、通学する児童が少ない現時点において、ご指摘の箇所を含む遊歩道は、登下校で使用していないとのことです。事務局案では、新千里南町3丁目に居住する新6年生(平成29年度)は東泉丘小学校に通うこととしておりますので、新5年生について再検討しましたが、該当する子どもたちには、新千里南町3丁目から南丘小学校に通うことになる子どもたちの牽引役として、さらに南丘小学校に在学する新5,6年生とともにリーダーとして活躍してもらいたいと考えています。次に、選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティ等の分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いることが懸念されることから、望ましくないと判断しました。
35	東泉丘小から十五中に実際進学する数が少ないのは納得。→十七中でも致し方ない。 東泉丘2丁目からは、自転車通学を認めてほしい。or学校にロッカーの設置。実情30分以上かかる。中学校に教科書を置いて帰ってはいけな。毎日10kg以上の荷物、クラブで疲れた体、雨などの天候条件。 保険の加入の促進。道路(歩道の整備)、街灯の設置。	自転車通学につきましては、当該地域の指定校の校長判断となります。事務局では、自転車通学やスクールバスを想定した検討は行っておりません。また、ロッカー設置につきましても校長判断となりますが、設置する場合は全校生徒が対象になるものと考えます。街灯につきましては、LED街灯に順次変更予定です。なお、登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、信号機の設置、横断歩道、通行注意喚起など必要な措置を検討してまいります。また、登下校時のケガにつきましては、事故等の状況にもよりますが、従来から加入いただいております、スポーツ振興センターの保険の対象となるものと考えております。
36	通学時間を大人の速さで計ったり、資料の内容を見ても結局は大人の都合で子どものことは考えていない気がします。安全面について、前回の説明会も具体的な話がなかったのに、今回もなかったの、納得できる内容が少しもなかった。小中一緒にして学力を上げることより、安全面等でもっと考えることがあるのでは。	登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。
37	豊中市は、周辺他市に比べて防犯カメラが少ないです。校舎増築を回避する事で浮いた予算で通学路にカメラを増やしてください。	防犯カメラの設置について、市は自治会の要望のもと、設置の補助を行っています。登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。
38	通学路(南丘小まで)が安全とのことでしたが、上新田交番前は歩道がなく、上天竺橋を渡る横断歩道も信号がありません。その道は見通しも悪く、一時停止しない車も多いので、スピードも出ています。最低限信号機を設置してほしいです。上天竺橋を渡った先も住宅街になるので、横断歩道への信号機設置を希望します。 ルート2にしても、二の切交差点も死亡事故が多発しています。歩車分離にするなど対応をお願いします。 東泉丘小までの通学路は、人目も多く、歩道の整備もされていますが、南丘小学校までは、安全とは言えません。親が安全・安心できる通学路整備をお願いします。	登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。
39	通学路の安全確保が不十分。	登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。



	質問・意見等	回答等
40	<p>通学路(南丘小までの)に、防犯カメラの設置を考えてほしい。東泉丘小で、1児童につきクラス役員をするという事があるが、東泉丘小で経験した人は、南丘小へ転校した場合は、新たに役員をしなければならないのか。もし、わかれば教えていただきたい。</p>	<p>防犯カメラの設置について、市は自治会の要望のもと、設置の補助を行っています。登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、横断歩道、通行注意喚起など必要な措置を検討してまいります。また、PTAのルール等につきましては、基本的に東泉丘小学校、南丘小学校のPTA間で調整していただく必要がありますが、事務局として可能な範囲で支援したいと考えております。</p>
41	<p>東泉丘2丁目のものです。校区の変更に関しては、同じ小学校の子どもたちが同じ中学校に行けるのは良いと思うのですが、通学路に関して、少し不安があります。田畑があることも認識しておりますし、中学校になれば下校時刻も遅くなると思います。ぜひ、街灯やカメラの設置をお願いいたします。</p>	<p>防犯カメラの設置について、市は自治会の要望のもと、設置の補助を行っています。また、街灯につきましては、順次LED街灯に変更予定です。登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
42	<p>南丘小への通学路ルート1は、子どもの見通しの悪い遊歩道、危険のひそむ植え込みの多い、かつ人通りの少ない遊歩道を歩かせることになり、絶対反対です。何かあれば(ちかん行為など)責任をとっていただけるのでしょうか？たけのこ(児童)の子どもは、特に一人になることがあり、遊歩道を一人で歩かせるのは、今の時代大変危険です。どのようにお考えでしょうか？冬の5時以降歩かれたことがありますか？昼間でも人通りはほとんどないです。</p> <p>昨年、青雲高校～9中前で起こったわいせつ行為に犯人もつかまっておりません。そのような地域で、遊歩道が安全といえるのでしょうか。皆の前でお返事ください。3丁目戸建では、東泉小の案、よろしく願います。</p> <p>東泉丘小では、通学路に遊歩道、農道は通らないよう考えております。それは、交通事故等の危険は回避できますが、犯罪やちかん行為があった時に逃げ込む場所、大人がいないというのが理由です。今回の案では、どれも農道や遊歩道がかなりの距離含まれており、今の東泉丘小PTAの考えとは逆です。通学路には「明るい」「安全」に加えて、子どもたちが何かあれば助けを求める大人が近くにあるということ、必ず含めていただきたいと思っております。</p>	<p>南丘小学校に確認したところ、通学する児童が少ない現時点において、ご指摘の箇所を含む遊歩道は、登下校で使用していないとのことです。街灯につきましては、順次LED街灯に変更予定です。登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。また、新千里南町3丁目の一部街区で通学区域を変更しますと、これまで培ってきた地域コミュニティを分断することとなり、様々な活動の妨げになることが予想されます。さらに、同じ地域で通学する小学校が異なることとなり、登下校時の見守り体制や安全面で不安が残ることになります。そのため、新しく建つマンションやマンション群だけなど、街区単位で通学区域を変更することは考えておりません。</p>
43	<p>もし、9中や南丘が爆発的に増えた場合、又、南町3丁目の変更されるのではないのでしょうか？</p> <p>30年前にも変更されて、又、変更になっています。今度また変更されるのではないかと今後変更はない等の公式な書類で確約してほしい。将来の子ども的人数が減ってくるので・・・。</p> <p>大きい交差点において(二ノ切の交差点)、歩車分離の信号にしてほしい。阪急オアシスのところの交差点も同じですが、学校の近くのみではなく、周辺も分離信号にしてください。二ノ切の交差点は、バスも通り、信号無視も非常に多い。通学路に絡む交差点において、分離信号をのぞみます。</p>	<p>第九中学校の教室不足も懸念される場所ですが、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」の中で、第九中学校の将来推計において、明確に教室不足が見込まれた場合、その時点において、第九中学校の検討に着手することとしております。なお、その際には、施設の増設・充実、又は隣接校との通学区域の変更のいずれかの方法で検討することになりますが、現時点においては全くの白紙です。なお、登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
44	<p>通学路について、危険はないと言われていたのですが、新千里南町の団地前の横断歩道や、陸橋をわたったあとのところに信号をつける、歩道を設ける(ガードレールをつける)等、してくださらないと心配です。信号もなく、朝は急いでいる車、路上駐車もつねにあります。それを見ておられないのですか？</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>

	質問・意見等	回答等
45	<p>短い時間でしたが、十分に用意された資料と、丁寧な説明をいただき、おぼろげながら理解できました。進められる方向は了解いたしました。</p> <p>ただ一つ、東泉丘2丁目の子どもたちが、十五中から十七中に行くにあたり、ナイル動物病院の向いの歩道が大変せまく(約30~40cm)とても危険です。なんとか、対策はとれないでしょうか。自転車の往来と人の歩行で大変危険だと思います。</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
46	<p>東泉丘小、十七中の卒業生です。</p> <p>開発が進み、竹藪や農道が少なくなってきました。昔冬に季節には暗い通学路を通い、不安な気持ちになったことがあります。これから数年間、安全な通学路づくりをしてもらいたいと思います。</p> <p>大変な作業になるとと思いますが、子どもの安全第一にがんばってください。よろしくをお願いします。</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
47	<p>きょうだい、地域で一斉に変更するのは、いいと思います。地域で小学校が同じ学年で分かれるのはよくないと思いますので。</p> <p>ルート1の天竺橋の耐久性がきになるので、(走ったらゆれる)補強してほしいです。柵も低くて心配なので高くしてほしいです。遊歩道は木々がうっそうとしているので、明るくなるように整備してほしいです。</p> <p>ルート2の二ノ切交差点は危ないと思います。</p>	<p>ルート1の上天竺橋の耐久性につきまして、関係部局に確認したところ「問題ない」との回答を得ていますが、柵の高さや遊歩道の茂み等につきましては、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、必要な措置を検討してまいります。</p>
48	<p>不審者等の事例もありますので、通学路の安全が気になります。(遠さは正直やむを得ず・・・)</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
49	<p>通学路について、歩車分離が安全でない部分が多少ある様で、近年の登下校中の児童への車輛突っ込み事件もあったので、十分な対策をとってほしい。</p> <p>今日の質問は批判的なものが多かったが、私のように、納得している人も多くいると思う。是非、このまま教育環境の改善に取り組んでほしい。</p> <p>「学校が近いところに通わせたい」という意見もあるが、距離は関係ないと思う。例えば、桃山台5丁目の子どもは吹田市民なので遠くの学校に行かなければいけない。自信を持って「教育」重視として対応してほしい。</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
50	<p>東泉丘2丁目の子どもが十五中⇒十七中へ進学となるとはびっくりした。小学校区変更のタイミングと同時にというのは手間がかからないのかなという印象。もう少し丁寧な説明会は必要なのではないか。</p> <p>東泉丘2丁目の子どもが十五中⇒十七中へ進学した場合、通学経路がかなり心配。普段巡視をしていて、通学経路になっているところは、女子児童が怖い思いをしたりすることが多発しているので、女の子の親としては、中学校区変更について、すんなり納得できるものではない。</p>	<p>本市では、小中一貫教育をより一層推進するため、通学区域等の変更により、分割校の解消に努めることとしております。あわせて、今回、新千里南町3丁目の通学区域を変更した場合、東泉丘小学校から大半の児童が第十七中学校に進学し、東泉丘2丁目の子どもたちだけが第十五中学校に進学することになります。当該地域から第十五中学校に進学する児童は現状よりもさらに少人数となり、精神的な負担は大きいものと考えられます。以上の点を勘案し、新千里南町3丁目の通学区域変更に合わせて、東泉丘小学校の分割校解消も合わせて検討を進めてきた次第です。なお、登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>
51	<p>数年かけて移行するより、一気に変更したほうが、よいと思う。大型マンションなので、マンション内で小学校が分かれるのはあまり好ましくないから</p> <p>やはり、車通りの多い道路を通うことになるので、西丘小学校のように、ダンボラさんを配置してほしい</p>	<p>登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。</p>

	質問・意見等	回答等
52	<p>南町3丁目の戸建て住宅は、通学路の安全面から見ても、東泉丘小のままにしてもらいたい。</p> <p>校区が変わると避難場所も変わるときいているが、3丁目住宅は、高齢者が多く、南丘小までのひなはかなり困難になる。選挙もいきづらい</p> <p>遊歩道の防犯カメラは早急につけていただきたい。</p> <p>小学校の校区変更は、在学生に関して、数年の経過措置をぜひ検討してもらいたい。</p> <p>東泉丘2丁目の小学校区変更はありえないのか？南丘小になれば、15中に行けるのでは？</p>	<p>新千里南町3丁目の一部街区で通学区域を変更しますと、これまで培ってきた地域コミュニティを分断することとなり、様々な活動の妨げになることが予想されます。さらに、同じ地域で通学する小学校が異なることとなり、登下校時の見守り体制や安全面で不安が残ることになります。そのため、新しく建つマンションやマンション群だけなど、街区単位で通学区域を変更することは考えておりません。また、避難場所や選挙(投票所)につきましては、校区変更と連動するわけではありません。防犯カメラの設置については、市は自治会の同意のもと、設置の補助を行っています。登下校時の安全確保は重要な観点ですので、今後、関係部局・機関・団体等と連携しながら、街灯のLED化、信号機の設置、路面標示や看板等による注意喚起など、必要な措置を検討してまいります。選択制につきましては、同じ地域から異なる学校に通学する状況が発生し、地域コミュニティや教育コミュニティの分断が懸念されること、また、当該地域の子どもたちや保護者を混乱させ、精神的に負担を強いることが懸念されることから、望ましくないと判断しました。事務局としては、東泉丘2丁目の小学校区変更は現時点で考えておりません。ちなみに、南丘小学校に変更すれば、中学校は第九中学校に変更となります。</p>
53	<p>今日の説明会は、東泉丘小学校についての説明が主だったので、東泉丘小学校、南丘小学校、第九中学校、第十五中学校、第十七中学校の全ての資料をそろえた詳しい説明会を開催して頂きたい。</p> <p>実施策が決定する前に今回と同様に、南丘小学校、第九中学校での説明会を検討して頂きたい。</p>	<p>5月16日(土)10:00～南丘小学校体育館、5月30日(土)14:00～第九中学校体育館において、「東泉丘小学校の課題解消に向けた検討状況」説明会を開催しました。なお、両会場とも、東泉丘小学校での説明会(4月25日)と同じ素案を提案し、質疑応答を行いました。(7月19日に東泉丘小学校、7月25日に第九中学校、7月26日に南丘小学校にて意見交換を開催しました。教育委員会主催の説明会は今回で一旦終了させていただきますが、ご希望により説明に伺います)</p>
54	<p>今後も進捗の説明会を望みます。</p>	<p>今回のように、説明の場、ご意見を聞かせていただく場を設けていただきます。(7月19日に東泉丘小学校、7月25日に第九中学校、7月26日に南丘小学校にて意見交換を開催しました。教育委員会主催の説明会は今回で一旦終了させていただきますが、ご希望により説明に伺います)</p>
55	<p>教育審議会の答申ありきではなく、地域の方々と協議を重ねた上で、進めていただくことを希望します。</p>	<p>学校教育審議会の答申等を踏まえて、教育委員会が作成した「学校規模と通学区域の課題の解消に向けた基本方針」に基づき、保護者や地域住民の皆さんと話し合いながら、課題の解消に向けた具体的方策の検討を進めています。</p>
56	<p>見づらい資料をどうして使うのですか？</p>	<p>ご指摘を踏まえて、わかりやすい資料の作成に努めます。</p>
57	<p>小学校区単位で組織されている地域団体の変更についての関係課等との連携に配慮してほしい。</p>	<p>教育委員会及び関係部局で構成する「学校規模と通学区域に関する検討会議」を設置し、連携しながら検討を進めています。今回は、子どもたちの教育環境を最優先に考えて、通学区域の変更を提案させていただきましたが、通学区域が地域に浸透し、学校が地域活動の拠点となっていることにつきましては、一定配慮する必要があるものと認識しております。</p>

	質問・意見等	回答等
58	両校の課題解決策としては妥当だと思います。 今回の案に関して判断する際に、気になるのは、変更前と変更後の小学校・中学校の校風などの詳細についても知りたいと感じました。	転校児童の新しい学校への不安や南丘小学校の児童が受ける環境変化への不安等に対する十分な配慮が必要と認識しております。平成28年度の1年間は周知及び準備期間とし、事前の交流活動の充実や通学(経)路の安全確認、相談体制の構築、教職員の配置等、両校の子どもたちが円滑になじめるよう検討していきたいと考えています。
59	4月1日で転居してきたが、WEB上の告知をしてほしい。いきなりすぎます。 行政、学校都合になっていませんか。 一貫教育の成果(目に見える成果)を提示してほしい(具体的効果を提示願います)	今後、東泉丘小学校の課題解消に向けた具体的方策の検討状況や、小中一貫教育に関連する資料等について、準備できたものから順次、市のホームページに掲載していきたいと考えています。小中一貫教育については、近年、子どもたちの発達の早期化や、中1ギャップなど、小・中学校間での円滑な接続が課題となっています。小学校と中学校が「めざす子ども像」を共有し、9年間を通じた教育課程の編成や学習指導の工夫を行い、系統的な教育を行うことで、学習指導や生活指導での効果が期待できるものと考えています。
60	地図がわかりにくい、橋の名前も明記してほしい 移行案が一括的すぎる	資料に関するご指摘につきましては、今後の参考とさせていただきます。通学区域変更案は、東泉丘小学校や隣接する小・中学校が抱える複数の課題を解消し、子どもたちの教育環境を良くするための方策であり、タイミングを考えて一括的な提案となったものです。